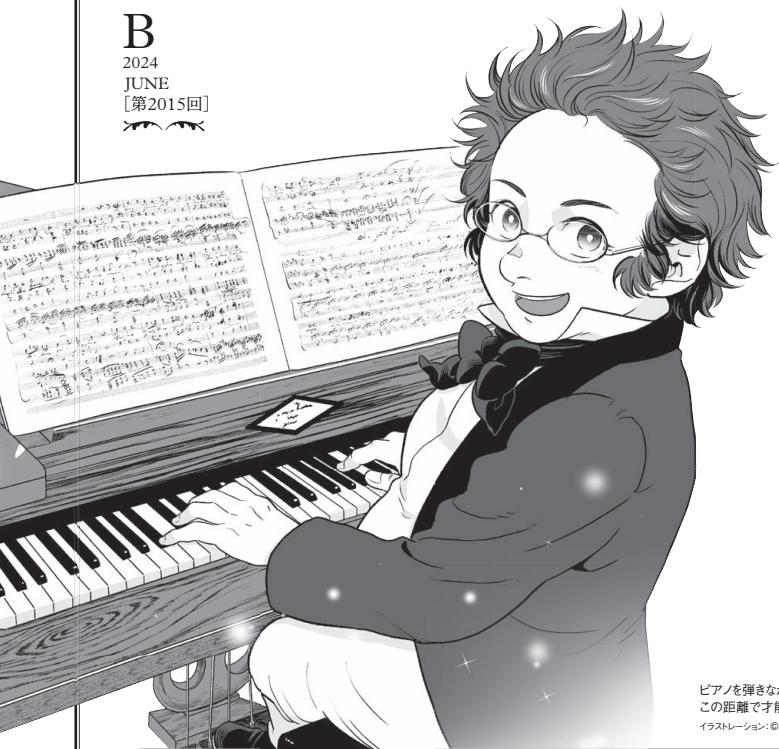


音楽の都ウィーン。モーツァルトやベートーヴェンはウィーンへと「上京」して名を成したが、シューベルトはウィーンで生まれ育ったウィーンっ子。11歳で宮廷礼拝堂の合唱児童になると、宮廷楽長サリエリ（モーツァルトのライバルであり、ベートーヴェンの師でもあった）のもと、たちまちに才能を開花させた。歌曲に代表される天衣無縫ののびやかな旋律は多くの友人と共（とりこ）に、商業的な成功を得る前に、31歳で若すぎる死を迎えた。

B
2024
JUNE
[第2015回]
👁️👁️

みんな大好き、ウィーンの宝
フランツ・シューベルト
Franz Schubert (1797-1828)



ピアノを弾きながら、どうかな?と振り返る——
この距離で才能を聴ける幸せ!
イラストレーション: ©IKE

シューベルティアデー

シューベルトの才能に惚れ込んだ友人たちが、シューベルトを囲んで彼の音楽を聴くうち、やがてそれは「シューベルティアデー」と呼ばれる小さな音楽会となっていく。気心知れたファンだけによる、とても親密な雰囲気での私的なコンサート。そこでの語らいは、シューベルト自身の創作活動にもおおいに還元された。